

2020 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	高原孝生
演習テーマ	戦後日本の国際関係と平和主義
内容と卒業論文の指導方針	演習テーマに沿った講読を通じて学習を進める。併行して、それぞれのテーマに沿ったゼミ論および卒論のプレゼンを、随時おこなう。卒論テーマは、前年までの校外実習や、独自課題実地研究をふまえたものが好ましい。
メール・アドレス	taka@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜 17:30~19:00 (2019 年度秋学期)
授業概要	前年までのように講読を進めるのに併行して、卒論にも時間を割く。春学期は、卒論の「練習曲」となるゼミ論を各自が発表する。
学習目標	引きつづき知見を広げ深めると共に、ゼミのテーマの傘の下で、それぞれの研究テーマを絞り、追究する。
授業計画	毎回、司会・進行、書記、報告者を決め、講読文献を読み進む。併行してゼミ論、卒論に関連するプレゼンを各自がおこなう。
予習	全員が講読文献を読み込み、報告者、司会・進行役はそれぞれの準備を行う。
復習	教員からの指示(宿題)の他、ゼミでの議論を受けて自身の予習を振り返り、あらためて学習したことを再確認する。
授業に関する注意事項	前年までと異なり、週一コマのみの授業となる。就活を理由とする欠席は好ましくないが、なるべく成績に反映させないようにする。
教科書	長谷川毅『暗闘』他、授業で指示する。
参考書	豊下楯彦『昭和天皇の戦後日本』他、多数を指示する。
成績評価の基準	授業の理解をふまえた平常点 (授業への参加度 50%および、提出物や発言等にみられる学習による知識等の向上 50%)。
関連 URL	
備考	